

見どころ案内

コダチダリア(皇帝ダリア) (キク科) 通巻第262号

メキシコ・中南米原産のダリアです。6m近く伸びて、薄紫色の花が咲いています。ペゴニア温室森のカフェ(南)側にある株は3回摘心し、草丈が低く咲いています。

カエデ園 (カエデ科)

今年の紅葉は冷え込みが弱いものの錦秋の谷となっております。間もなく散り果てます！お見逃しなく！！

白侘助と

ヒゴツバキ '万才楽'

(ツバキ科)

'白侘助'は展望塔側の斜面に、完全には開かない白花の小花をたくさん着け、ひときわ目立ち、「侘び」の名に似つかわしく咲いております。他方、ヒゴツバキは熊本で育成されてきた園芸植物に見られる^{あて}「艶やかさ」を見て取れ、両者を対比してごらんいただけます。

ベニマンサク (マンサク科)

紅葉は既に散り果て間近で見逃された方も、珍奇な花が丁度見頃で咲いています。斜面に植栽してありますので足元に気をつけて、御覧ください。

カリン (バラ科)

黄色く硬い実をたわわに着けています。そのまま食すことはせず、焼酎に浸け薬用酒として咳止めや疲労回復に利用します。

さんばがわふゆざくら

三波川冬桜 (バラ科)

ヤマザクラとマメザクラの交配種。一重咲きで薄い桃色の花をつけています。

こふくざくら

子福桜 (バラ科)

八重咲きで白色～薄い桃色の小ぶりな花をつけています。

アシズリノギク (キク科)

高知県の足摺岬から愛媛県の佐多岬にかけて分布していることから名前がついています。葉に白い縁取りがあります。ノジギクの変種です。

クリスマス飾るフラワー展

ポインセチアの巨大ツリー、冬に出回る鉢花や植物公園で採れた植物材料を使ったリースやクラフトなどを展示して、クリスマスムードを盛り上げております。

[展示温室にて]

タビビトノキ

(バショウ科)

大温室改修に伴う移植作業が進み、今しか御覧いただけない、名前そのままの勇壮な姿をぜひ御覧下さい！

サザンカ (ツバキ科)

刈り込みにもよく耐えることから園内各所の生垣として植栽しています。特に展示資料館裏の階段沿いの大株が見頃となっております。

巨大ハンキングバスケット

ハポタンでバラの花束をイメージしています。その他にストック、エリカなど冬の鉢花を使ってクリスマスを演出しています。[日本ハンキングバスケット協会 ハンキングバスケットマスター作]

蘭花譜展セレクションⅡ

～12月23日(水)

竹鶴政孝とともにニッカウキスキーを創業した加賀正太郎による蘭の木版画集です。浮世絵の技法を用いた精密な描写です。

[展示資料館1階展示室にて]

